

静岡縣に於ける道路愛護運動 (三)

左右田 友三郎

磐田郡久努村道路愛護會

本會は一般村民を主體とし之に國民學校を參加せしめ、昭和十三年二月結成、會員二百五十名を擁し、會長に村長を推し、副會長に助役、顧問に學識經驗者並に社會事業功勞者、評議員に村會議員、部長に部落會長、班長に隣保班長、會計に收入役を充て村内を縦貫せる國道一號、町村道袋井停車場油山線外二一線、此の延長一萬一千六百五十六米を區域とし、統制上之を一三部よりなる作業班を編成年二回及大詔奉戴日を定期作業日とし、更に國民學校班は随時實施の計畫を樹立し、常に幹部の熱誠なる統制下に作業に精進し、現に昭和十六年度に於ける一齊作業回数二回、出勤人員一千三十二名に及び此れに學校班の隨業作業を加ふるときは其の數甚大に及びり。而して一般住民は從來道路管理者に依存

し路面の荒廢等顧みざる弊習なりしも、本愛護運動に依る實踐的眞髓に接觸發奮し、特に本村に於ける道路を見るに路面を徒らに利用し占用するものなく國道筋路側水路等相當幅員を有するも、更に占用箇所なく整然たるものにして、之等は交通道德を遺憾なく發揮し交通上、治水上寄與する所多く、愈々公共的精神を發揮し近時道路愛護に舉村一致の姿を呈し明朗的文化の久努村の建設に邁進し道路の條理淨化に努むる所あり、一般人の感動大なるもあり、其の成績實に顯著にして他の範とするに足る。

磐田郡袋井町道路愛護會

本會は町民一戸一人制を主體とし、更に東西國民學校を參加せしめ自奮自勵の根強き團體にして、此指導者たる本會長に町長を推薦し、部落會長を部班長に充て機構整然たり。而して當地方は

國道一號、府縣道袋井横須賀線外三線、町村道二俣、袋井停車場線外四線、此の延長二萬七千餘軒を作業區域とし、統制上之れを



會 護 路 村 岡 金 郡 東 駿
實 況 業 作
(本 誌 一 月 號 參 照)

各隣保班よりなる作業部班に編成、年四回及各月大詔奉戴日を定期的作業日とし、更に國民學校班は隨時動員せしむる計畫を樹立

し、常に幹部員の熱誠なる統制下に精進し、優秀なる業績を擧げ現に昭和十六年度に於ける出勤人員九千四百八十名に及び、國民學校班を加ふる時は裕に二萬九千五百餘人に及び、其の實績極めて顯著なり。而して一般住民は從來の道路に關する認識なく、常に道路管理者に依存し來りたるも、之等弊風を斷然捨て本愛護運動に依る實踐的行動に共鳴修理清掃に不斷の努力を注ぎ、就中學徒の愛護運動は十數年來の慣行により熱意熾烈にして、其の活動亦活潑を極め一般交通者に無言の感化を與へ、社會的に良好なる影響を及ぼすものある等其の業績顯著なるものあり、既に團體結成以來三回に及び表彰さるゝ等眞に推奨するに足る。

磐田郡三川村道路愛護會

本會は昭和十二年十二月結成、村内世帯主を主體とし、更に在郷軍人分會警防團等參加し渾然一體の機構にして、正會員四九一名、準會員四〇六名を擁し、會長に同村長を推し副會長に助役、評議員に村會議員、幹事に各部落會長を充て村内要職員を網羅せる堅實なる組織にして、全く舉村一致の姿を發揮し毎年二回の一齊作業の外、毎月大詔奉戴日を常設的作業日に設定し、會長並に幹部の熱誠なる指導の下に各種團體の極めて圓滑なる連絡統制を圖り、村内を横斷せる府縣道山梨二俣線及組合道見付敷地線外、支線延長一萬二千三百六十米を作業區域とし、專業遂行上各部落單位たる六部の作業區を編成し、作業方法の適正規律整然の裡に

路面修理、側溝浚渫、雜草刈取の修理に終始し、昭和十六年度に於ける出勤人員は二千一百五十一名に及び、尙本村中央部を縦貫せる敷地川は近年増水災害を受くること數回に及びたるも、道路愛護團體の果敢且敏速なる行動により災害を輕少ならしむる等、就中本村は國民學校に於ける愛護運動は十數年來の慣行により熱意熾烈にして其の活動亦活潑を極め、一般會員と呼應し獨り道路を良好なる状態に於て維持愛護するに止まらず、精神的雰圍氣へ一般民衆に無言の感化を與へ、社會的教化に資する事大なるものあり、眞に其の業績顯著にして推奨するに足る。

磐田郡下阿多古村道路愛護會

本會は昭和十二年一月道路愛護に關する知事諭告の發せらるゝや其の必要性を強調し他町村に先んじ結成を見たるものにして、發會當初は村長自ら會長となり、全住民五八〇人を會員とせしも作業の實質上之を男女青年團の活動にまつを恰好適切なるものと認め改組せしものなり。毎年二月十一日及九月二十四日の二回を一齊作業日と定め、府縣道二俣飯田線外二線、延長一三、三五六米の長區間を作業區域とし、全員擧つて「道路は自己が庭園なり」と標榜し、眞摯なる活動を續くること茲に五ヶ年に達す。偶々昨十六年夏秋期當地方稀有の大洪水に際しては、會長總指揮の下に全會員を激勵し、克く水禍を最少に止め得たると他面破壊せる道路及橋梁の應急措置に協力し、交通の保全に力を致せしこと甚大

なるものある等、時局下實質剛健の發洩たる氣風を發揮し不倦不撓、實績昂揚に努むる所あり、眞に其の業績顯著にして他の範とするに足る。

引佐郡三ヶ日町道路愛護會

本會は同町青年團を以て組織し、昭和十二年一月創立せるものにして、曩に道路愛護に關する諭告發布せらるゝや町當局は本事業は青年團の事業として恰好適切なることを強調し、同團長たる國民學校々長と諮り同團員を提げ奮然參加し、會長に町長を推し副會長に助役及青年團長評議員に町土木委員及各區長を委嘱し、幹事に町土木主任及副團長、幹事部長に同團支部長を充て會員一八八人を擁し、町内を縦横に貫通せる府縣道氣賀豐橋線外五線、延長三三、八七四米、縣下稀なる長區間を作業區域とし、全線を十五部班に編成、毎年絶大なる功績を擧げつゝありし處、昨十六年度は偶々縣下中、西部を襲ひし大洪水に際しては全員協力之が應急並復舊の事に當り水禍を最小限度に止め、且つ交通の保全に努めたる等、其の成績眞に顯著にして他の團體の追従を許さず、之等純眞なる奉仕作業は一般町民に對し愛護思想を昂揚せしめ公德心の助長培養に努めし無形の功勳からず、町當局にありては本會に對し獎勵金を交付すると共に、作業器具を貸與し専ら勸奨に努めつゝあり、茲に前後五回に互り頌表せらるゝ等其の業績他の範とするに足る。

磐田郡浦川町警防團道路愛護會

本會は昭和十二年二月警防團を以て結成、會長に各團長、副會長に各副團長を推し、幹部は同役員を充て會員實に五百餘名を擁し、之を十一部に區畫編成し、更に四十五班に分ち年三回の定期一齊作業日を設け、尙各部は其の交通情勢に應じ隨時實施するものにして、町内を縦貫せる府縣二侯、飯田線及東西に横走せる中部新城線外一線、延長六里餘及町村道主要路線延長四里半を作業區域とせり。

交通の兩者は密接關係を有するものなることを強調し、積極的に本運動に邁進單に維持保全のみならず、改良事業を計畫する等現下資源の開發の急務なることを提唱し、昭和十三、十四、兩年度に於て前記二侯、飯田線の未改良區間に對し工費約二萬圓を計上改良せる等其の事續洵に看るべきものあり、尙十六年度に於ても作業回數二回、延人員三九七人に達し、結成以來交通運輸に寄與せる所尠ならず、仍て昭和十四年度以降毎回之を頌せらる等其の業績推奨するに足るものなり。

磐田郡二俣町道路愛護會

本會は本町住民一戸一人制を以て昭和十二年二月一日結成、會長に町長を推し、副會長に助役、顧問に縣會議員、警察署長、土木工營所主任、二俣驛長、評議員に町土木委員、各種團體長、部長に各町内會長、班長に各隣保班長、幹事に町書記、會計に收入

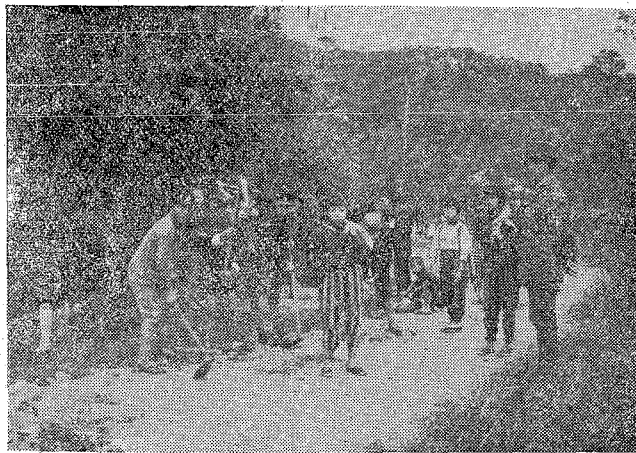
役を充て府縣道二侯、大居線外五線、町村道二俣西裏線外主要町道路二十九路線此延長二五、五八〇米を作業區域とし、事業遂行上之を十八區百十六班に編成、年二回(内一回は各區又は各班に於て自發的計畫のもとに奉仕)一齊作業を設定、會員千五百三十名、國民學校、實業學校、女學校等各道路愛護會と連繫協調して作業實施をなす。一齊作業實施當日に於ては町吏員全員出勤各分擔區域に出張、表により出勤人員、作業箇所延長、作業時間、作業成績、必要經費の調査報告をなさしめ、土木工營所よりは所員及道路工夫の指導監督、會長、工營所主任、町土木主任は全町に互り檢閲巡廻をなして作業の督勵をなす等、年を追つて其の技術熟達し成績又優秀なるものあり、殊に昭和十六年七月十二日の本地方古今未曾有の大水害にあたりては愛護會の活動目覺しく、夫々任意他區域に應援出勤は勿論府縣道橋梁流失箇所たる双龍橋、嘯月橋等は深夜に至る迄渡船を以て交通の全きに努め、假橋架設作業四箇所等は各區各班連絡し、物資持寄りを以て不眠不休の努力をなしたる外、災害箇所應急修理を數日に互りて施行なしたり、此の出勤延人員九四〇人、此延時間七、一一六時間に及び地方を擧げて感謝の絶讃を浴びたり。災害復舊に至りては緊急道路愛護會を召集し、七月三十日より八月八日迄午前六時より午後四時に至る十時間作業奉仕を決議し、出勤人員一、三七八人、此の延時間實に一三、七七〇時間に及び一部は遠く光明村災害復舊應

撥出動をなす等一致協力、社會奉仕に道路愛護精神を遺憾なく發揮し旬日にして災害箇所を一新するの實を擧げたり。續いて十二月十二日の一齊作業實施に當りては道路災害未處理部分の修築、補強、側溝の浚渫、除草、上置砂利採取、溜置等全會員一致年末を控へての一日の作業は當時として苦痛なりしも、大東亞戰爭勃發直後の感激を奉仕に現はし、特に顯著なる實績を擧げ眞に推奨するに足る。

賀茂郡濱崎村須崎國民學校道路愛護會

本會は濱崎村須崎國民學校兒童を以て組織したる團體なり。抑も道路愛護の動機は學區内一部兒童達の敬神の念より發し、從來の慣行による神社清掃と併せて道路の清掃整理に専ら精進し、之等學童の自發的善行は漸次他の學區に及ぼし、遂に之れが全學區に感動を與ふに到れり。昭和十一年縣の道路運動を嚆矢に欣然奮起し、職員兒童一體となり、一段と強化を圖り通學區域に互る通路の修理清掃に終始し來れり。偶々昭和十五、十六年と引續き風水害を蒙り、同部落唯一の交通網たる府縣道下田須崎線は各所に崩土洗堀を生じ交通に支障を來たしる時、率先崩土除却、路面修理、作業等復舊に全力を傾注し交通上寄與する所尠からず、亦一方常時作業を隨時に行ひ、現に昭和十六年度に於ける出勤人員二千三百七人、此延人員七百三十三人に及び路面の修理清掃、側溝浚ひ除草、砂利採取作業等に熱烈なる作業を實施する等純眞なる

學童の行爲は一般民の感賞の的となり、倍々銑後少年の潑刺たる意氣を以て邁進し近時道路の面目を一新するは勿論、其の業績顯



賀茂郡濱崎村須崎國民學校
生徒の作業實況

著にして他の範とするに足るものなり。

賀茂郡三濱村妻良國民學校

報徳精神に即り教職員協力一致の下に社會奉仕事業として、日曜日早朝は神社境内の淨化道路の修理清掃を行ひ、日本精神の發揚心身鍊成に努め來れり。然るに昭和十五年、十六年は降雨多く各所に崩土決潰あり、通行村絶せるも同村愛護會に呼應、教員兒童渾然一體となり、應急修理に従事し、交通保全の一助をなしたり。此の純眞なる重心の作業は深く一般村民を感動せしめる處となり、將來積極的に本運動の使命達成に努める者多きに至れり。眞に他の模範として推奨するに足る。

田方郡伊東町西國民學校少年團

本校に於ける道路愛護作業は遠く大正の中頃より自治的に行はれ、當時は主として各學區の上級兒童が主體となり、一日、十五日、祭日等に神社を中心として行ひ、其他隨時海岸、或は道路の清掃を行はしめたるものにして、昭和七年に至り本校訓練の一特質とも言ふべき學友班（現在少年團の基）なるものを設置して、隣保共同區内の美化、日本精神の發揚、心身鍊成のため勤勞作業として本運動に励め、作業實施上全校三千の兒童を六區に分け、更に四十七の小字別とし、三百有餘の學友班を組織し、自治的活動を獎勵すると共に、毎月數回三年以上の兒童が男女各四十七の小字に別れ、全職員又一致協力、一定の方式のもとに業を兒童と伺じうし、専ら泉都伊東の淨化に精進せり。爾來路面の清掃、側溝の浚渫作業、其の他河川及海岸の淨化と相俟つて其の成績顯著

なるものあり、一般町民觀光客を感動せしめ偶々町有志外來名士の方々より賞詞を受くる等あり、抑も當町は交通機關の發達に伴



田方郡伊東町西國民學校少年團
學徒の作業開始班長指示

ひ温泉療養の關係上、近時傷痍軍人其他名士の出入し年と共に頻繁となり、且つ少年團の結成せらるゝや本運動を一段と強化し、

一日、十五日、大詔奉戴日を常例作業日とし、神社及參拜道路の清掃以外、毎日曜日早朝各分團黙々と道路の愛護に精進し、既に其の功績を頌せらるゝことあり、眞に模範團體として推賞するに足る。

田方郡宇佐美村國民學校少年團

本校は師弟同行己の誠を行するを以て教育是とし、これが實踐として夙に少年團に勤勞奉仕團を組織し、増産、公共方面に全校總力を擧げ、就中道路愛護に努め着々其の實績を擧げつゝあり、由來本村は水利に恵まれ、伊東海岸中第一の米産地なるも、地下水近きが爲に道路の破損屢々にして、之れが修理に莫大なる勞力と費用を要し現況の村財政を以てしては容易ならざるものあり、茲に童心ながら此の間の事情を理解し、自發的に通學班分團別の奉仕隊を組織し、毎月一日、八日、十五日の三日間晴天先づ神社參拜と併せ一齊に道路の修理作業を實施するに在り、昭和十六年度に於ける作業の實績に徴するに作業延人員實に三萬一千八百七十六人、作業實延長百六十九料に及びり。特に梅雨期或は冬期降霜期間中にありては作業本部を設置し、全校兒童海岸川口附近より小砂利を運搬して道路の修理に當る等、規律肅然眞摯なる勞作姿態の許に終始し、其の成績極めて顯著にして村民の感謝一方ならざるものあり、本村近時伊東線の開通に伴ひ加速度的に觀光地帯として賞揚されつゝある今日、村内道路の美化修理は實に喫緊

の要務として少年團員の愛護運動は村民の自覺と相俟つて年々向上の一途を辿りつゝあり、往時は路面が荒廢するも之をかへりみず、塵埃思ひのまゝに飛亂せし道路も今は漸く面目を一新しつゝあるは、誠に純眞なる精神の晶結にして眞に推賞するに足る。

田方郡上狩野村月ヶ瀬國民學校道路愛護會

昭和九年九月一、二部生徒の自發的作業に始り、不斷の愛護に伸び行く郷土の標語の下に教職員協力一致、初等科三年生以上の生徒を以て愛護團を組織し、現在二百六十八名の會員を擁し、本村を貫通せる府縣道靜岡下田線外二線並に町村道を教職員指揮の下に毎月第一、第三日曜午前五時を期し全員一同區内の道路修理、清掃、側溝の浚渫、除草作業に従事し、一般交通者に道路愛護精神を遺憾なく發揮し、其の業績は上狩野村道路愛護團の業績を壓するの感あり、殊に本團に在りては吉祭療養所の白衣勇士の送迎、慰問、各神社境内の淨化等一般社會に反映する所尠からず、現に昭和十六年度に在りては作業一五回、延人員四千名に達し、其の業績顯著なるものあり、既に表彰さるゝ事三回に及ぶ等の範とするに足る。

靜岡縣富士商業學校

同校に於ける勤勞作業は青少年に賜りたる勸諭を奉戴し、全校職員生徒渾然一體となり、勤行するに在り、特に時局下生産擴充に伴ふ交通機關の整備に重點を置き専ら道路愛護運動に精進する

ものにして、剛直なる四百有餘の生徒は質實剛健なる氣魄を發揮し、熾然なる動行を以て同校附近を横過する國府縣道延長六軒餘を作業區域とし、毎月定期的に實施するものにして、近時常に優良なる路面の狀態を保持する等、之等集團的動行は恰もヒットラニューゲントにも相應しき廉ある等其業績眞に頌するに足る。

富士郡吉永村第一國民學校

本校は曩に穆清と稱し、昭和十五年六月縣の道路愛護運動懇談に郡下十八校中率先結成參加せる團體にして、同校初等科第三學年以上七百五十有餘名を擁する兒童を以て組織し、學區管内を縱横に貫通せる府縣道、町村道延長四、四〇〇米を作業區域とし、教職員渾然一體となり、每週二回宛實施せるものにして、之等勤勞作業は舊慣に依る同村民の美風を一段と尊重發揚するものにして、特に大東亞戰爭下に於ける少國民鍊成に重點を置き専ら強調精進し、現に昭和十六年度に在りては作業回數五十二回、出勤延人員四十六萬六千七百五十二人、換算人員五萬八千三百四十四人に及び、常に作業時間を四時間乃至五時間の長きに亙り修理、清掃に當る等學區内道路の整備淨化に貢獻する所尠ならず、其の實績極めて顯著なるものある等、統後少年の堅持する意氣眞に推賞するの値あり。

富士郡須津村國民學校

本團は須津村國民學校初等科第四學年以上の兒童八百名を以て

組織せるものにして、道路愛護運動は昭和十五年三月參加せるも同校に於ける校外教育の一樣相として、本團結成前より公物愛護の精神的陶冶の見地により十數年前より實施し來りたるものにして、特に時局下態勢に順應し、少國民鍊成に重點を置き、通學區域を分割し、各班制を以て班長之れを統轄し、兒童住家を中心に其の區域を分擔せしめ、作業日は之れを定期清掃日と制定し、毎日曜日、其他祝祭日に於ける晴天作業とし、更に災害に依る損傷其他甚敷道路の損傷、又は道路側に建設せる電柱貼紙等に依る汚損等ある場合は特別清掃日として、全校職員兒童一齊的に出勤、之れが修理復舊、淨化に努め、常に良好なる維持狀態にある等現に昭和十六年度に於ける實績に徴するに作業回數五十二回、出勤人員二千七百二十六人に達し、逐年其の實績を昂揚する在り、眞に範とする所大なり。

富士郡上野村國民學校少年團

同校に於ける道路愛護は昭和十五年八月同村道路愛護會に包含せるも、學校單位の道路愛護團體の結成、懇談に依り率先少年團を主體として參加せるものにして、同校初等科第三學年六百有餘名を以て組織し、學區内府縣道及町村道延長一二、五〇〇米を作業區域とし、毎月曜日早天行事として同團鍛鍊會の名に於て道路の修理清掃を行ひ、現に昭和十六年度に在りては作業回數五十二回、作業出勤延人員三萬七千三百三十六人に達する等、常に又不

斷の努力を以て學區内各部班競つて其の實績昂揚に精進するにあり。之等純眞なる兒童の勤行眞に頌すべく以て範とする所多し。

庵原郡兩河内村中河内國民學校

本校に於ける道路愛護運動は同村道路愛護會と呼應し、勤勞教育の實踐的陶冶訓練に重點を置き永年繼續し來り、凡て兒童を中心として自治的に指導せるものにして、作業統制上之を學區別九班に編成、各班に上級兒童を班長、副班長として監督に充てしめ毎月一回二百六十餘名を動員定期的に實施し、更に道路の状態に應じ隨時行ふものにして、之が總指導役として職員中勤勞奉仕係を設置し專任的に擔任せしめ、作業に際りては一糸亂れざる動姿を以て終始し、殊に作業用補給砂利として附近地河敷より採取の上運搬數均し、側溝の浚渫を専ら行ひ、或は災害に依る小破修理は特別作業として臨時に實施する外、季節的には雜草の刈取、除雪作業、尙村内一齊作業日には之れに参加する等、可憐なる兒童の勤行は工夫も及ばざる實力を擧ぐるに在り、一般民衆の感賞の的となり、特に戰時下餘後少年の潑瀾たる意氣以て一段と熾烈を加へ倍々精進せらるゝ等、本校當局に在りては之等各班の成績優良なる班を毎學期選奨し督勵に努め、而して農山村建設の一様たる道路の整備に邁進しつゝありて近時路面の状態を一新せしめる等其の業績眞に優秀にして他の範とするに足る。

安倍郡大川村檜尾國民學校少年團

本團は本校に於ける校外指導訓練の強化徹底を期し、専ら勤勞教育に重點を置き山村に於ける生産擴充方面に教職員兒童一體となり協力する所ありしが、偶々縣の道路愛護運動の德惠に村當局と諮り同村道路愛護會に参加し、爾來小國民の心身鍊成に恰好適切なることを強調、舊來の慣行的作業に一段と氣魂を注ぎ毎月二回の作業日を設定、學區全線に互る維持修理に精進し、殊に災害等に依る道路の缺壞、崩土の爲交通不能の場合には全員出動、應急復舊に努め、一般交通の安全を圖る等純眞なる真心の美事に學區民の感激する所尠からず、時局下隣保協助勤勞報國の實踐的精神教化の實を擧ぐる等其業績眞に推賞するに足る。

静岡市大谷國民學校道路愛護會

本校は戰時下國策遂行上勤勞奉仕作業を標榜し、偶々縣の道路愛護運動を最も適切なることを強調し、昭和十五年三月結成、初等科四學年以上の兒童を以て組織し、毎週日曜日早朝より學區内神社及府縣道の清掃修理、障害物の除去側溝の浚渫等交通整備を實施し來り。近時學區内道路は著しく良化するに到れる等勤勞精神の涵養と相俟つて交通上寄與する所尠からず、現に昭和十六年度に在りては作業回數五十六回、出動人員三千三百三十六人に達し其の實績顯著なるものあるのみならず、専ら心身を鍊成し、團體的訓練に重點を置き國民的自覺を深め、以て皇國民鍊成の實を擧げつゝあるを以て村民の感激する所尠からず、従つて漸次實績昂

場に通進する所あり、眞に教職員児童一心同體精進せる姿は眞に推頌するに足る。

志太郡葉梨村葉梨國民學校

時局に鑑み職員児童一體となり時局下生産擴充、交通整備強調以て國力の充實に協力寄與せんことを企圖し、専ら勤勞報告の實踐を顯揚しつゝあり、就中生産擴充に伴ふ交通機能の増進を痛感し茲に道路愛護作業團體を創立せしものにして、團長に校長を推し、初等科五年以上の全児童に依り結成し、之が實施に當りては村内を横斷せる府縣道瀬戸谷燒津線、相俣藤枝兩線延長八、六〇〇米に及ぶ長距離區域を作業區域とし、毎月二十日を定例作業日とし全員を動員し、各通學監督教員の指揮の下に路面の修理、側溝の浚渫、路肩の整理、危險物除却等實質剛健の氣風を發揮し、日常鍛鍊せる渾身の腕を振つて發汗の作業に終始し、現に昭和十六年度中出役人員四、七八五人に及び之等健氣なる學童の勤行により一般道路は整肅せられ村内一般も一段と明朗化するに至り、村民より多大の賞讃を博しつゝあり、戦時下統後少年の赤誠を遺憾なく發揮したる姿こそ洵に推賞するに足る。

志太郡和田村和田國民學校少年團

本校は曩に道路愛護運動強調さるゝや、其の趣旨とする所児童の集團的勤勞公德心の陶冶を目標として教職員一體となり、初等科三年以上の男子をして結成し、村内を横斷せる府縣道和田藤枝

線吉永燒津兩線延長三、二一五米、此の區域を作業區とし、毎月一日、十五日を定例作業日とし、教職員指導の下に一致協力、規律整然眞摯なる態度を以て路面の修理、草刈、危險物除却等の作業に終始し、本年度中に於て作業回数二十四回、参加人員四、三〇人の多數を算するに至れり。之等純眞なる児童に依る作業は一般村民を感動せしめ、漸次道路に對する認識を深め、覺醒を促すに到れる等其の成績顯著なり。

榛原郡菅山村菅山國民學校道路愛護會

本會は同校初等科三年以上の男女児童を以て組織し、昭和十五年五月二日結成せり。爾來道路愛護運動に通進し、府縣道金谷相良線外二線四、三八九米、町村道三三、三〇二米の區間を作業區域とし、作業統制上各通學區域に分擔し、毎日曜日を定例作業日とし晴天を期し最寄神社に集合し、境内の清掃を行ひ教職員の指導監督の下に各受持區域に分散道路の清掃、除草、路面の修理に黙々として渾身の腕を振り維持修理に精進するものにして、現に昭和十六年度に於ける出役延人員四、四二〇人に達し、全員和衷協力眞劍味を以て作業に終始し、常時亦維持愛護に努め、近時路面の状態を一新せしめたる等、其の業績顯著にして克く勤勞奉仕の實を擧げ交通上は勿論、一般社會教化に寄與する所頗る大なるものあり。

磐田郡鹽濱村國民學校道路愛護會

本會は同校少年團を主體とし、昭和十一年知事の諭告に基き縣内五百の國民學校に魁ヶ率先結成したる團體なり。抑々本團に於ける道路愛護の動機は村内一部兒童等道路工夫の熱誠なる作業に感激發奮し、蹶然昭和八年四月作業團を締結し、爾來日奮挺身たる精神力の旺盛なる少年愛護團體として、昭和十二年以來表彰を重ねること實に五回に及べり。抑も本會の作業區域の一部たる府縣道横須賀掛塚は本線海岸線にして、時局下重要道路にして路面の荒廢甚しきも通學途上常に路面に注意し、小破を發見するや直ちに修理をなす等、之等細心なる行爲は實踐的陶冶訓練による氣魄の顯にして眞に敬虔の念油然而るものあり。

作業は毎週日、月、木の放課後實施せるものにして、作業統制上之れを學區別四分團の作業班を編成せるものなり。現に昭和十六年度に於て作業回數九五回、出動人員三萬二百五十名に及び、之れに隨時修理作業を加ふるときは出動員數四萬に達せんとす。斯の如き成果を得たるは實に父兄、職員、兒童三位一體の愛護精神に依るものにして、今や縣内は勿論縣外各地より斯の典型的勞作に肖んと欲し參觀者頻なりと聞く、榮譽を得たる五百の學童三箇の村民は感激發奮し、將來を期する所あり其の業績以て範とするに足る。

磐田郡福田町國民學校少年團

本校少年團は昭和十二年三月福田町道路愛護會に合體結成し、

爾來學童の校外指導施設の一として、實生活に最も價值多き道路の維持愛護を目標に勤勞運動を計畫實施し來りたるも、昭和十五年三月福田町道路愛護會より分離獨立し、一層本運動の使命達成に企畫的創始として第一步を發せり。會員二千一百七十二名を擁し、町内を通ずる府縣道横須賀掛塚線外一線、町村道福田中島線外二線、此延長七千五百米を作業區域とし、統制上之を各通學區よりなる四班の作業班を編成、毎月第一日曜日を作業定例日とし更に隨時交通状態に應じ出動せしめ、路面の修理清掃、側溝、浚渫、撒水作業に従事せしむるものにして、現に昭和十六年度に在りては作業回數六回、參加人員四千七百八十名に及べり。而して本町は織布工場地として躍進の途上にあり、且つ本縣南部を縦貫せる國策的重要道路を有し、路面荒廢著しきも工都建設の氣魄を躍らせつゝ作業に終始し、亦常時道路の機能發揮に努め、不斷の努力を注ぎ近時道路の面目を一新するに到り、町民の感賞の的となれり。尙將來極積的に本運動の使命達成に意氣旺盛なるものあり。其の業績に推獎するに足る。

小笠郡掛川第二國民學校道路愛護會

同校は昭和元年學區二瀬川區、鳥居區、橋區の學童等相謀り、「何かよいことをしよう」と自發的に申合せたるに端を發し、専ら社會奉仕に精進し、學校當局、地元民をして感激せしめたり。而して之等重心の善行は直ちに全通學區に及ぼすに至り、茲に於て

學校當局は之れを尊重し、校外生活指導に一段と強化を圖り、統制ある機構と指導を以て當るべく自治會を組織し、勤務報國、流汗鍛鍊、校具愛用、規律嚴正、朗朗丹誠なる作業五訓を制定し、職員兒童一體となり、吾等が目標として心身の鍊成に邁進し實踐の實を揚げ來れるものなり。

偶々縣の道路愛護運動の慇懃に欣然參加したるものなり、抑も自治會は凡て學童を中心とせるも、監督上指導職員を配置し、各區に組長及班長を置き、區の作業區の編成より成り、國道一號、外一線町村道學區全線比延長四千五百八十八米を作業區域とし、每週一回日曜日道路愛護デーとして早朝實施するに在り、更に路面の状態に應じ、臨時に施行する等、毎回二百五十人の學童一齊に出勤し、路面の修理、側溝の浚渫作業等眞剣に行はれ、常に學區道路の整備に終始し、昭和十六年度に在りては作業日數十二回、參加人員三千七百四十名に及ぶ等、多大の業績を収めたり。之等童心の純情眞に推奨するに足る。

靜岡縣二俣實業學校報國隊

昭和十五年十月三十日全校職員生徒を以て二俣實業學校道路愛護會を結成し、二俣町及隣接村の縣道及町村道の修理作業奉仕を目的とし、着々其の事業を行ひ、昭和十六年九月二十五日靜岡縣知事より感謝狀並に金一封を授與せられたり。

昭和十六年五月二十三日前記の報國隊を結成したるを以て道路

愛護事業も本隊の事業として行ふこととなりたり。昭和十六年度奉仕作業の主なるものを擧ぐれば、六月十七日より同月二十五日に至る期間に於て出勤、延人員三百七十八人を以て二俣驛附近新道の修理に當りたり。トラック荷車等の交通に便したり、次で七月十二日の大水害により道路橋梁の破損甚だしきため、全校職員生徒出勤し應急修理に當りたり。即ち七月十六日より八月一日に至る間に於て十一日間職員生徒全員百四十名により(1)二俣川橋梁双龍橋(縣道、流失に對する應急工事として假橋架橋の應援をなし、土石の運搬橋柱の基礎固めをなし、(2)又光明村地内に於ける堤防缺壞箇所補修のため土石の運搬をなし、或は町内横町裏道修驛前道路在岡車道間の臨時橋梁の修理等に當りたるものなり。

即ち昭和十六年度夏季心身鍛鍊期間の前半の行事は、總て本作業に振替へ之に依りて心身修練の實を擧ぐると共に、一般交通上に寄與する所極めて甚大なるものあり、其實績眞に推奨するに足る。

磐田郡二俣町國民學校道路愛護會

本校に於ける道路愛護作業は、當初各分團兒童の率先自治的行ひ來りたるに濫觴し、昭和十五年十月二俣町國民學校道路愛護會として發足し以て今日に及べり。

爾來毎月十五日を一齊作業日となし、第一日曜を各分團別作業日と名付け實行し來りたるものなり。一齊作業日は主として道路

の不陸直し側溝浚ひを實施し、各分團別作業に在りては清掃作業を實施することとせり。而して作業區域は全町を縦横に貫通せる府縣道七線、町村道五線、延長五萬米の區間とし、作業に際しては之を初三以上千四百餘の兒童を出動し、縣土木工營所の指示に従ひ、或る時は南に或る時は北に或は天龍川原より、或は二俣川原より砂利を採集運搬し、作業用に供する等一致協力、汗の體驗を通して愛護し、以て「吾等の道路」と愛稱しつゝあるの現状なり。特に白糸新町兩分團の如きは更に毎朝ラジオ體操終了後、自發的に分團區域の道路を清掃し、町民の感謝の的となり「負ふた子に淺瀬を教はる」の譬の如く一般町民に道路愛の念浸徹しつゝある事例あり。眞に笑ましき様相を露呈し、學校當局に於ても陰に陽に讚辭を呈し、其の篤行を助長し居れり。大東亞戰爭下勞力不足を幾分でも吾等が補ふことの信念は強く、玉汗を絞つて營々として土塊、砂利を遠く河原地より運搬する兒童の姿にも窺はれ頼母しき極みなり。酷寒炎暑を冒して心身を鍛練し、困苦缺乏に堪まぬ鐵の如き意志を練磨し、以てよりよき皇國日本人育成に精進しつゝある眞摯なる行動は、他の龜鑑として選擇するに足る。

磐田郡浦川町國民學校少年團道路愛護會

昭和七年少年團創設以來學童の校外指導施設の一として、實生活に最も價值多き道路の維持愛護を目標に、勤勞運動を計畫實施し今日に至れるものにして、學區を通學區毎に分團組織に編成し

現に初等科第五學年以上三九四名は毎日曜日を作業日に設定し、各分團長指揮の下に教職員指導監督に當り全區内の道路の修理、清掃、側溝の浚渫、除草作業を實施し、尙道路の損傷甚しく應急修理を要する場合隨時放課後に於て行ふ等、崇高なる奉仕の精神を發揮し、殊に本團に於ける不撓不屈の道路愛護運動は同村警防團よりなる道路愛護會と相呼應し、不斷の努力を傾注し、現に昭和十六年度に在りては作業回數五十回、出動人員一萬六百五十人に達し、業績倍々顯著なるものある等、終始一貫純眞なる童心の勤勞奉仕は區民をして感動せしむる等、校外教育として精神陶冶訓練に好影響を齎らし、又一般的に道路愛護思想に對する無言の教化を與へ一般社會に反映する所ある等、前後三回の推彰を受くるあり、眞に其の功績推獎するに足る。

磐田郡下阿多古村阿多古國民學校道路愛護會

本校に於ける道路愛護運動は昭和十四年九月一日興亞奉公日を期して發足せるものにして、兒童校外生活指導の一様相として放課後職員兒童一團となり、毎月一日一齊に愛護作業を行ひつゝありしが、今次大詔奉戴日設定せらるゝや之を毎月八日に改めたるものなり。

作業實施に際しては學校を中心として府縣道二俣、飯田線一線延長約八千米を作業區域とし、之を作業統制上初等科五年以上の兒童を十四班區に分ち職員一名以上を配屬せしめ、側溝浚渫、土

勝取除け作業等、師弟同行の姿に於て毎回一時間乃至一時間半實施するに在り、現に本年度に於て出勤延人員約一千五百人に及び其の實績著しく見るべきものありて、終始一貫純眞なる童心の勤勞奉仕は村民を感應動向するに至らしむる事例多く、又校外教育として精神的陶冶に好影響を齎らし、殊に戦時下學童の當然行ふべき義務として率先勤勞報國の良習慣を興へる等亦一面一般社會に反映する所あり、其の業績極めて多く眞に推奨するに足る。

磐田郡池田村民學校少年團

本少年團は昭和八年六月組織以來、本團事業の一樣として學業の餘暇を利し、道路愛護作業を實施するに在り。

抑も本村は他村に比し土地は廣大ならざるも、府縣道見付等井線、中ノ町池田線の二線貫通し、而も兩縣道の兩側には人家軒を並べ小市街地の面目をなせる所謂、街村を構成してをるに鑑み、街路の清美、公衆衛生の見地より道路愛護作業の眞に必要なを痛感し、茲に本少年團は驟然奮起する所あり。之れが奉仕の實踐顯揚を目指し毎月第二、第四日曜日、十五日を一齊作業日とし、更に大東亞戰爭勃發以來、大詔奉戴日を加へ實施し今日に及びたるものなり。作業實施に當りては通學區に基き、初等科三年以上の兒童を四分團に編成し、特に日曜日には早起會として出勤、八日、十五日の定例日は放課後出勤し、路面の清掃修理、危險物の除去、障礙物の整理、側溝浚渫作業、其の他必要に應じ撒水等凡

て職員監督のもとに各分團長指揮の任に當り、殊に事變勃發以來は時局に鑑み勤勞奉仕の精神を一段と發揮し「道路愛護は我等の手にて」の意志も堅く、教職員、兒童一心同體、戰線將兵の心を心とし、極めて緊張せる動作を以て作業に終始し、近時殊の外實績を擧ぐるに至れり。之等眞摯敢闘の姿は一般村民の痛く感謝感激するところなり。最近作業を應援し、或は作業具を寄贈する等村民より多大の後援を得るに至れり。

現に昭和十六年度に在りては作業回数四十三回、一回の作業人員二〇〇名、各地延人員は八六〇名に及び、其の業績多大にして全路線の面目を一新し、殊に激賞すべきは特志團員の毎朝晴天作業として隨意路面清掃をなす者續出し、村民の推奨するところある等業績眞に頌表するに足る。

